

2007年 トップが綴る

仕事の指針心の座標軸

私の生き方・考え方

PHP研究所

[編]

ルールある戦いはすばらしい

榎平成建設社長 秋元久雄

人は皆、なぜ競争するのでしょうか？ 野生の動物も植物も、生存競争の中で今があると思いますと、競争は生物の本能として止むを得ないのかなと思います。それ以外の動植物は養殖されたり、栽培されたりして人間のために利用されるしかありません。

昨今は、多方面で二極化が進み、「勝ち組・負け組」という言葉が流行する始末です。オリンピックやワールドカップなどでは、少数の勝ち組と、絶対多数の負け組に分かれます。でも選手は、全員真剣に戦っています。その姿に皆が感動や感激をします。誰だって負けるのは口惜しい。だけど敗者が勝者を讃えるのがスポーツマンシップです。だから、敗者にも惜しめない拍手が送られます。スポーツ競技も市場競争も同じです。その戦いにはルールがあります。だから全力でプレーできるのです。

私も経営者の端くれですので、ルール（コンプライアンス）無視、道徳観念なしの経営者や、人のためになっていない職業や行為に従事している者たちを見ると無性に腹が立ちます。

それによって勝ち組の仲間とよばれ、多くの所得を得て贅沢ぜいたかをしている人たちが家族を見ると、拍手どころか嫌悪感さえおほえる始末です。金さえあれば何でもありの人たちは、資金を有効に使う人たちにいつかは滅ばされてしまいます。これが成熟社会のルールです。

動物は食べる分しか殺しません。人間の際限のない飢餓感が情けない限りです。

January
1月20日